

## 「金融危機」は地域金融をどう変えたか

立教大学 山口義行

1990年代後半のいわゆる「金融危機」は地域金融をどう変えたのか。「中小企業を潰した」とまで評された近年の金融行政の変遷は、地域金融の視点からどのように評価されるべきか。地域金融の担い手たちが当時の体験から学ぶべきものはいったい何なのか。——「不良債権問題もようやく峠を越えた」といわれる今日、あらためてこうした問題について総括を試みることは決して無意味なことではないであろう。報告では、こうした問題意識にたって、近年の金融論議を振り返りつつ、今後の地域金融の課題について若干の問題提起を試みることにしたい。

検討すべき課題・・・

- ①貸し渋り問題——「やむをえなかった」で免罪されるのか。
- ②不良債権問題——現場はどういう「解」を見出したか。
- ③金融行政——正しかったのか、間違っていたのか。
- ④金融アセスメント運動——「利用者参加」をどう捉えるか。
- ⑤今後の課題——「地域金融」のジレンマ。

・・・など。